



私のいちおし本 「くらやみきんしの国」

エミリー・ハワース 著



選者：内之浦小学校教諭 中川 翔一

あるところに男の子がいました。男の子にはこわいものがありました。それはくらやみです。

男の子は王子さまでした。だからきめたのです。ぼくが王さまになったら、くらやみをなんとかするんだ！

それから、何年かたって王子さまは、王さまになりました。

くらやみがこわい王さまは、くらやみを禁止にさせました。

大臣たちは、みんながさからわないようにくらやみが悪であると国民にしらして、それを信じた国民は、人口太陽をてらして明るくなった毎日に大喜びです。昼が続く世界を実現してしまったのです。

でも人々はねむれなくて…花火がきっかけとなって王さまもあやまちに気づくのでした。私たちに、大切なことを教えてくれる1冊です。

今月の新刊

【銀河アリーナ図書室】

【一般】

家族って

しまおまほ 著

家族って、なんだろう？ かつて著者が子どもだった頃、大人に問いかけたその疑問に、母になった今、答えを探してみることにした。祖父との思い出、両親との旅行、息子がいる日常…。

友人のような家族、家族のような友人たちとの絶妙な距離感をユーモラスかつ鋭い視点で綴るエッセイ。



【文化センター図書室】

【一般】

臨床の砦

夏川草介 著

この戦、負けますねー。「神様のカルテ」著者によるドキュメント小説。

命がけでコロナに立ち向かった小さな病院の知られざる物語を描き出す。



【児童】

ありえない！

エリック・カール 作

カンガルーのおなかのポケットから人間の男の子が出てきた？鳥が水の中で生活し、魚が鳥カゴの中にいる？奇妙な組み合わせや、立場が逆転したものが登場。

でも、これってほんとにありえない？固定観念を打ちやぶる絵本。



【児童】

武器ではなく命の水をおくりたい 中村哲医師の生き方

宮田律 著

2019年12月、アフガニスタンで凶弾に倒れた中村哲医師。35年にわたり、パキスタンとアフガニスタンで人道支援にあたった生涯をたどりながら、その生き方、考え方を伝える。



その他の新刊

【一般】ベンチの足

佐藤雅彦 著

金運大全

Love Me Do 著

【児童】あきらがあげてあげるから

ヨシタケシンスケ 作・絵

いちにち

ひろたあきら 作

その他の新刊

【一般】曲亭の家

西條奈加 著

小福ときどき災難

群ようこ 著

【児童】しげちゃんのはつこい

室井滋 作 長谷川義史 絵

へんしんどうぶつえん

あきやまただし 作・絵